

事務事業評価シート

計画対象年度	平成27年度									
事務事業名	千代田公民館運営事業（政策）									
事業類型	イベント・行事・各種講座教室等									
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	社会教育法・市民館設置及び管理等に関する条例及び施行規則	
			10	04	02	10	政策経費			
総合計画体系	第3章 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象		
	第2節 生涯学習の充実						市民協働	行政の関与		
	[1] 生涯学習						担当課係等	千代田中地区公民館		
5 地区公民館活動と地域活性化運動						学習担当				
事業期間	継続（ 年度～ ）									

現状把握の部 (D0)

【目的】 生涯学習の中核として、時代に即した生活・趣味・教養・親子ふれあい及び健康増進などの講座を通じ、地域市民の教養・文化意識の高揚を高める。	【関連事業】 生涯学習推進・女性団体行政・放課後子ども教室推進・霞ヶ浦公民館運営・文化芸術振興事業	
【期待される効果】 各種事業を実施することにより、生涯学習団体の育成、活動推進を図る。	【対象者】 全市民	
【全体概要】 千代田公民館の各種事業に係る費用。自ら学習活動に参加し、その中で学ぶ楽しさや喜びを感じながら自己実現を図ることができ、生涯学習としてとらえた講座を計画する。	【特記事項】 28年度から中学校地区ごとに地区公民館（組織）を設置し、事業展開することになったため、同事業は千代田中地区公民館講座事業と下稲吉中地区公民館講座事業に分けて、拡充した形で事業を実施する。	
【平成26年度 事業内容】 教育、学術及び文化に関する各種定期講座の実施	【平成27年度 事業内容】 教育、学術及び文化に関する各種定期講座の実施、活動内容を「ふれあい生涯学習フェア」で発表	【平成28年度 事業内容】

■ 事業費

		H26年度	H27年度	H28年度					
財源	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	1,258	750	0					
	歳入計（千円）	1,258	750	0					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	08 報償費	1,061	733	0					
	09 旅費	2	0	0					
	12 役務費	0	17	0					
	14 使用料及び賃借料	195	0	0					
歳出計（千円）（A）	1,258	750	0						
（参考）	当初予算額	1,303	当初予算額	764	伸び率(%)	決	皆減	予	皆減
職員人工数	0.60	1.00	0.00						
職員人件費（B）	4,698	7,689	0						
総事業費（A）＋（B）	5,956	8,439	0						

■指標						
種類	指標名	単位		H26年度	H27年度	H28年度
活動 指標	講座の開設	件	目標	21.00	12.00	0.00
	各種講座の開設数		実績	21.00	12.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	講座の年間受講率	%	目標	75.00	75.00	0.00
	各種講座の募集定員に対する受講者の割合		実績	85.42	98.02	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 事業を実施することで、地域市民の参加意欲や自立に貢献できるため結びついている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 健康寿命の延伸や地域コミュニティの円滑化などに要する経費は、地域市民にとって必要不可欠であるため妥当である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民アンケートなどを重視しながら、ニーズに応じた事業を実施することにより、成果の向上は見込まれるが、見直す余地はある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 生涯学習に取組む地域市民の活動拠点が廃止されると、学習機会を奪うことになり影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 公民館の設置目的達成のため、学習施設として地域ニーズに合わせた活動に要する事業は、学習活動を支援するものであり、統廃合はできない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 公民館講座では、参加人数が減少している講座もあるが、人気のある講座は参加者が多く、市民のニーズに合った学習機会の提供に努めているので、有効性は十分あり削減の余地はない。休日・夜間・公民館外での事業に人員を要するため、人件費(人員)の削減余地はない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 女性の参加が高い傾向にあるが、講座生は「マナビいかすみがうら」で募集し、誰でも参加できる。また、参加者の材料費等は安価で適切な受益者負担であるため、公平・公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	自主的な活動をする文化団体数や会員数が減少傾向にあるため、当初から文化団体やサークル化を目指した講座を中心に計画、実施していく。
1次評価(1次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性(改革・改善策)) 記入者: 生涯学習課長 中泉栄一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)		
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 28年度から中学校区ごとに地区公民館活動を行うため、千代田公民館を会場にした「千代田中地区公民館講座事業」と下稲吉地区の公共施設を会場にした「下稲吉中地区公民館講座事業」に分け、講座内容、講座数なども拡充して事業展開していく。あわせて市民の意向を確認しながら既存の公共施設のどこかを下稲吉中地区公民館に位置づけできるように準備、調整を進めていくこと。		
2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方法的性(改革・改善策)) 記入者: 教育部長 飯田 泰寛 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)		
担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 学びの成果を発表する機会を数多く設けるなどして、市民の学習意欲を高めることや励みとなるよう努めてください。		